

2025 年 日本国際博覧会 休憩所 1 ～fuku fuku～

本建築は 2025 年日本国際博覧会で建設された休憩所である。本建築の最大の特徴は休憩所を覆う揺らぎをもった構造をしたカラフルな膜材材料の屋根である。

屋根に採用された膜材料は、半透明膜材にデッドストックとして廃棄されるはずであった 40 種の約 3500 枚のテキスタイルを一つ一つつなぎ合わせた斬新なデザインとなっている。従来の膜材料は一定の品質を確保するため同一種の製品を用いることが一般的であるが、膜材料を下地とし他種多様なテキスタイルをつなぎあわせるデザインを採用することで新たな膜材料としての可能性を見出している。さらに、デッドストックである廃棄されるものを活用することで、唯一無二の屋根をデザインし休憩所として建物を実現した。膜構造をみると屋根材の軟らかさを最大限に生かすために、屋根形状に三次元形状の外周梁とケーブルを用いて揺らぎを与えて、膜材料と膜構造が一体となるよう丁寧にデザインされている。

上記より日本膜構造協会特別賞としてふさわしいと考え、ここに賞を贈るものである。

本建築はデッドストックを用いた膜材料の提案となっている。同手法の発展により資源循環性に更に踏み込んだ膜材料および膜構造に発展することを期待する。

表彰委員 磯部孝行